

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第61号&gt;

**かながわ異グ連ニュース**

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センター5F  
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194  
 Email: [zan25564@nifty.com](mailto:zan25564@nifty.com) <http://www.kanagawa-iguren.com>

**28年間維持した中小企業条例 - 墨田区の報告**

芝 忠

10月1日開催した第3回中小企業振興条例セミナーは、藤沢市会議員や茅ヶ崎市職員・中小企業経営者など新しい参加者が加わり盛り上がりしました。最初に三井逸友横浜国大教授が全国的に中小企業が減少している中、「景気回復」と言われる状況での格差の広がりや中小企業に収益が回らないこと、国が推進した「地域産業集積活性化法」対象地域での目標達成地域が7%に過ぎないこと、地方自治体が自ら独自の活性化策を実施していること、EUの「小企業憲章」の有効性と、日本での目標が中小企業振興条例づくりになる可能性について触れました。

東京都墨田区の事例報告では1979年、今から28年前に施行された「条例」が現在でも生きており、数々の施策につながっている歴史や現状での施策例が示されました。最近では昔からある中小企業だけでなく、近代的な装いを持った新しいタイプの中小企業も多数集積しつつあり、墨田区の変身ぶりがビデオで流されました。区役所の中心的政策の基本に座っていることが良く分かる内容でした。

討論では神奈川県だけが活性化するのはなく、開かれた地域としての交流の重要性が指摘され、また同時に地方では大企業の進出の功罪や地域崩壊の現状なども出され、地域を守ることと振興条例の関係なども指摘されました。県産業活性化課からは条例を審議する「産業懇話会」の状況が報告されました。

最後に事務局から、市町への働きかけの中で県条例の進行情報が行き届いてないこと、従って要求討論の場として12月に開催する予定の集会の延期と「幹事会」の開催、及び討論に重点をおいた集会の開催案が示され、関係団体の勉強会の必要性・条例づくりの意義を十分捉えなおす必要性などが提起されました。また11月23日、関内の平沼レストハウスで「自治体学校産業経済分科会」が開催され、大林先生を助言者として「中小企業振興条例」問題を中心にする計画が紹介されました。懇親会では三井先生も加わり大変楽しく意見交換しました。

**神奈川における中小企業振興策を考える自治体学校分科会(開催予告案内)**

(第35回神奈川自治体学校「地域経済・産業政策分科会」)

神奈川県当局は9月12日に「かながわ産業活性化懇話会」を発足させ、いよいよ本格的に「中小企業活性化条例」づくりに着手しました。近年、自治体の「条例」づくりは金融や企業誘致だけでなく、「地域活性化」の総合的施策を狙う基本条例として機能させようとする努力がなされています。都道府県段階でも千葉県や埼玉県・福島県・三重県・熊本県等で先行的に実施されています。神奈川県内では県だけでなく、市町村でもまだ一つも条例化はされていません。これを機会に県及び市町村が同時に「中小企業振興条例」づくりに参画することにより、神奈川県全体が「中小企業が営業しやすい地域」になるべく「新しい地域づくり運動」として位置づけようと私達は考えています。

地域産業の活性化という、今後の自治体政策の根幹に係わるテーマとしての討論を期待しております。奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

期 日： **11月23日(金)13:30~17:00**(終了後交流懇親会~近くの店~を予定、実費)

会 場：平沼レストハウス2F会議室 045-641-5749 (横浜市中区不老町2-7 横浜市文化体育館脇)

内 容：司会進行 NPO法人 中小企業地域振興センター 副理事長大島茂男氏

第1部 13:30~: 開会挨拶と自治体学校産業経済分科会の目的 かながわ総合科学研究所理事 小畑 一氏

13:40~: 問題提起①**中小企業を取り巻く情勢と中小企業振興条例問題** 神奈川大学教授 大林弘道氏14:20~: 問題提起②**中小企業振興条例づくり運動について** 神奈川異グ連専務理事 芝 忠氏

第2部 15:00 ~17:00 討論会、まとめ

参加費：500円(会場費・資料代等) 申込締切：11月21日(水)(資料準備の為)

連絡先：かながわ総合科学研究所 小畑 一 ☎045-662-9839 Fax045-664-7920

〒231-0028 横浜市中区翁町2-7 第2不二ビル503号

主 催：かながわ総合科学研究所 後 援：神奈川県異業種グループ連絡会議

**産学官交流サロンのコーナー****おなじみ尾上町サロン**

日 時: 毎月第一・三金曜日(11月02日、11月16日) 会 場: 神奈川中小企業センター5F産業交流プラザ

**10月19日(第三金)は主要メンバーが全国異業種交流京都大会へ参加のため、サロンは中止と致します。**

連絡問合: 神奈川異グ連事務局 芝、八幡、島津龍男、児玉、鈴木 045-633-5142

<p align="center"><b>第11回 西湘サロンの開催案内</b></p> <p><b>日 時:</b>H19年11月12日(月)18:00~20:00  <b>会 場:</b>あいおい損保小田原支社 3階会議室          小田原市城山1-6-22 瀬戸ビル  <b>話 題:</b>「理学療法と役立つ運動機能」          国際医療福祉大学 准教授 昇 寛 氏          (国際医療福祉大学の小田原保健医療学部は、看護師・保健士・理学療法士・作業療法士を育成するために、H18年4月に小田原市に開設されました) 参加費:1000円          申込:吉池 tel045-633-5142 fax045-633-5194</p>	<p align="center"><b>第23回三浦半島経済人サロン</b></p> <p><b>日 時:</b>H19年11月28日(水)18:00~20:30  <b>会 場:</b>神奈川新聞社横須賀支社 5階会議室          横須賀市小川町21-9  <b>話 題:</b>「どぶ板通りのまちづくりの実践」          本町商店会会長 越川 昌光 氏          中小企業診断士 大場 保男 氏          (上記テーマについて意見を交換し、皆様からの情報発信も受け付けます) 参加費:1000円          申込:八幡 tel045-633-5142 fax045-633-5194</p>
<p align="center"><b>第10回(9/10)西湘サロン報告</b> 吉池 BC</p> <p>今回は山北町、神奈川柑橘果工株式会社総務部長の井上卓司氏による清涼飲料のお話でした。日本では年間17億ケースが消費されているそうですが、これは日本人全員が、毎日おおよそ一本ずつ、清涼飲料を一年間飲み続けた勘定になります。当社提供の山北丹沢水系の美味しい天然水を利用した清涼飲料の「足柄茶」と「梅ドリンク」を味わいながら、清涼飲料業界の動向、製造方法、天然水を守る山北町の努力などについてのお話を聴きました。</p> <p>「足柄茶」の缶には、足柄山のかわいい金太郎さんと熊さんがデザインされていました。</p>	<p align="center"><b>第21回川崎経済人サロン</b></p> <p><b>日 時:</b>H19年10月23日(火)18:00~20:00  <b>会 場:</b>(財)川崎市産業振興財団 8階第2研究室          川崎市幸区堀川町66-20  <b>話 題:</b>「2007 元気なモノ作り中小企業300社に選ばれたわが社の事業と将来について」          マイクロダイヤモンド(株)代表取締役 中島博邦氏          参加費:1000円          申込:松井 tel045-633-5142 fax045-633-5194          産学官交流サロン全般に関する問合せは神奈川異グ連事務局専務理事・芝忠へ045-633-5142</p>

### かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

<p align="center"><b>まんてんプロジェクト</b> 千田BC</p> <p>●<b>東京都の第二回アジア旅客機フォーラム</b>にて“まんてんプロジェクト”を発表  <b>10月30日14:00~17:00</b>都民ホール(東京都議会議事堂1階)にて開催される表記国際フォーラムにおいて、まんてんプロジェクトの活動を含め、中小企業の参入について発表する。出席者は東京都知事、アジアの航空機メーカー、アジアのエアライン、アジア大都市ネットワーク21共同事業参加都市(デリー、ジャカルタ、クアラルンプール、台北、ハノイ)、日本国内検討委員会委員(国、重工メーカー、航空会社、商社、学識経験者)、東京都内在住、在勤在学者から約100名 <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/09/22h9q900.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/09/22h9q900.htm</a>          発表内容 . 石原知事挨拶          a.アジア旅客機の実現に向けて(東北大学大学院工学研究科教授 中橋 和博氏)          b. 中小企業の航空機産業への参入について(JASPA(株)取締役 千田 泰弘氏)          c. 海外航空機メーカーの現状(台湾 AIDC 社 相談役 チン・フー氏)          d. 日本の航空機産業政策~東京都に期待すること(経済産業省航空機武器宇宙産業課長 片瀬 裕文氏)          e. MRJの開発状況について(三菱重工業(株) 航空宇宙事業本部長代理 丹羽 正量氏)          f. P-X,C-Xの民間転用について(川崎重工業(株) 宇宙・民間航空機部 上級専門職 平上 雄一氏)          g. 新しい旅客機に期待すること((株)日本航空 整備本部 副本部長兼技術部長 齋藤 隆氏)</p> <p>●<b>まんてん総会の開催</b>(参加費:無料 懇親会:3000円) 問合せ:事務局 松永佳子 TEL:045-439-2287          平成19年度第二回まんてん総会を開催します。会員以外で参加を希望される方は事務局までお申し出下さい。          開催日時:平成19年10月19日(金)14時~ 会場:神奈川中小企業センタービル13F 第3会議室  <b>「小型電動飛行ロボットの研究開発(背景・現状・将来)」</b> 東京大学 工学系研究科航空宇宙専攻久保大輔氏  <b>「空中物流ロボットの開発とその利用分野への取り組み」</b>(独)産業技術研究所知能システム研究部門 岩田拓也氏  <b>「まんてんプロジェクトとの連携と今後の業務の展開」</b> JASPA(株) 千田泰弘氏</p>
<p align="center"><b>シフト21</b> 有村知里BC</p> <p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。(場所はかながわ県民センター)          10月定例会は、「ご存知ですか?爪の役割~いつまでも自分の足で歩くために~」というテーマで、合同会社(LLC)爪切り屋メディカルフットケア横浜 代表社員 中野理子氏にお話をいただきました。中野氏は通所介護施設で高齢者介護に携わった後、メディカルフットケアを学び、仲間3人とH18年5月に会社を設立、</p>

同年9月白楽に「爪切り屋足楽」を開店されました。「爪切りって仕事になるの?」という周囲の疑問の中で開業され、事業を着実に展開されていらっしゃる工夫や、新しい法人形態であるLLCを設立された感想、そしてフットケアのミニ講座としても参考になるお話でした。

**11月定例会は大田区内の工場見学会**を予定しています。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)

### 第78回日韓ビジネス協議報告

高橋導徳BC

- 日本企業紹介・・・(株)ヒューマノイド/コミュニケーション 代表取締役 森岡昌紀氏  
・コミュニケーションロボットのシナリオ製作、情報処理伝達システム、ヒューマノイド(人型ロボット)、インターネットのコンテンツなど
- ベトナム・ハノイの最新状況について・・・関東建設工業(株) 国際部顧問 池谷敏雄氏
- 第3回神奈川県=韓国・京畿道との「異業種国際交流会」**について  
11月1日(水) JR桜木町駅前 ブリーズベイホテルにて開催予定、26企業の参加申し込みがあり。
- 基調講演:「**日本における韓国化粧品事情**」について・・・(有)精美堂 代表取締役 野口 修氏  
・キムチ乳酸菌発酵液などの配合で肌に優しく、浸透しやすく、30分かけて肌の上で純粋なビタミンC10%、ハイドロキノン2%生成される。関西テレビ、日本テレビなどにこの化粧品の効果性について放映された。

### 第79回日韓ビジネス協議会

**日時: 10月24日(水) 15:00~17:00** 場所: 神奈川中小企業センタービル 5階会議室

- 日本企業紹介・・・(有) ラスティワールド/各種環境商品・輸入雑貨など 代表取締役 鈴木泰司
- 最近の韓国情報など・・・(財) 韓国中小企業振興公団・日本事務所 所長 梁 海震氏
- 最近の日本サムスの状況について・・・日本サムスン(株) 顧問 石田 賢氏
- 基調講演: その後の「まんでんプロジェクト」について 会長 瀧澤 清氏  
関心ある企業の参加者を歓迎致します。会費は1,000円です。

連絡申込先: TEL&FAX 045-311-0094 高橋迄 MAIL: [mtakahas@tb3.so-net.ne.jp](mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp)

### 海洋深層水を楽しむ会

八幡敬和

久しぶりの会合で、NPO日本海洋深層水協会の菊島孝子氏から「海洋深層水と健康づくり」と題して海洋深層水温浴が健康増進に果たす役割を易しく説明された。タラソセラピーなる造語を生み、国内に20ヶ所の施設が開業しているとのこと。カラスの行水ではダメで、じっくり浸かって湯から上がってもなるべく塩を落とさないことと解説された。懇親会では深層水を使用した食品の数々を試食して歓談した。

### スターリングエンジン研究会

八幡敬和

(株)プロマテリアルをコア企業とした「スターリングエンジンを活用したバイオマス燃料コジェネレーションシステム事業を可能にする連携体の構築」が、本年度連携体構築支援事業に採択された。米国 INFINIA 製スターリングエンジンを改造して、廃油を燃焼するビジネスモデルである。これでスターリングエンジンの認知度を高めたいと、関係者一同張り切っている。連携体は横浜製機、アサヒ技研、KBK フロンティア、和光大学など多数。

### 関連イベントなどのお知らせ

#### 経営力を高めるセミナー～資金体質を強化する会計～

**日時: 10月(11日は済)、17日、11月5日、12日** いずれも13:30~16:30(ご都合の良い日にご参加ください)

場所: 神奈川中小企業センター13階 第3会議室 主催: かながわ異グ連、中小企業基盤機構 他

内容(4日間とも同じです) 講師: 島津龍男、小林巽

中小企業財務会計の構造・重点方針と事業計画・資金体質の強化・売上予算と資金繰り・税法改正のポイント  
問合せ申込: 異グ連事務局 芝 島津達男 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

#### 中小企業技術革新(SBIR)制度説明会

**日時: 第二回H19年11月29日(木) 13:30~**  
**第三回H20年01月31日(木) 16:30**

場所: 神奈川中小企業センター6階 大研修室

内容: 公的資金活用企業の体験談、SBIR制度概要の説明最新情報提供、応募のポイント、申請書の記入要領  
参加費: 無料 問合せ: (社)日本技術士会神奈川県  
tel045-210-0337 fax045-210-0338

#### H19年度神奈川県ものづくり技術交流会

**日時: 10月24日(水)~26日(金) 聴講無料**  
場所: 神奈川県産業技術センター(海老名市下今泉 705-1)

24日: 燃料電池、デバイス、分析技術、電子応用など

25日: ナノテクノロジー、材料技術、計測など

26日: バイオ、生活工学、異業種交流、資源化、環境など

問合せ: 神奈川県産業技術センター046-236-1500

ものづくり技術交流会事務局 <http://www.kanagawa-iri.go.jp>

**かわさき起業家オーディション「50回開催記念フォーラム」**

H13年11月スタートの「かわさき起業家オーディション ビジネスアイデアシーズ市場」が、H19年10月に50回を迎えた記念に、受賞者の追跡調査、受賞者ビジネス紹介などの記念フォーラムが開催される。

**日時:**H19年11月10日(土)13:00~18:15 **会場:**川崎市産業振興会館 4階展示場

**内容:**基調講演:「最近のベンチャー環境とベンチャー経営とは」早稲田大学ビジネススクール教授 柳 孝一氏  
研究報告:「受賞者の事業展開等について追跡調査結果」前オーディション審査委員長 小野耕三氏  
受賞企業によるパネルディスカッション、交流会(一般参加者1000円)

**川崎市産業振興財団の経営革新塾**

会場は川崎市産業振興会館

**日時:**H19年10月31日13:30~**「顧客・販売管理システム」PC実習**

講師:平田滋昭氏(技術士)

受講料:1000円 先着16名

CRM、accessを使用した実習あり。

**日時:**H19年11月07日、14日

18:20~ 2日間連続参加要す。

**「事業承継セミナー」~手順とポイント**

講師:蔵野武氏、糸賀大氏(診断士)

受講料:2000円(2日間) 先着20名

**日時:**H19年11月29日14:00~**「省エネルギーと環境経営」**

講師:遠藤民夫氏(技術士)

受講料:1000円 先着20名

申込は**いずれも財団044-548-4150****投稿のコーナー****製造物責任について考える**

C&amp;S会長 村上嘉男

8月24日の新聞に、三洋電機の扇風機が発火し足立区で2人焼死したため、30年以前の同社製扇風機の使用中を呼びかけていた。発火した扇風機は1970年製で、我が家にも同社製のお座敷扇風機をいまだに使用しており該当型番と類似していたので、同社のホームページから調べると、同じく37年前の製品で該当製品台数は650万台のうち現在使用中は推定7000台とのこと。当時この扇風機を選んだポイントは①デザインが良かったこと②支柱が伸び縮み出来る③羽の回転スピードが高、中、低の他に微風の4段階があり、特に微風は昼寝している時非常に心地よく、そのため長年にわたって使ってきた。現在扇風機は殆ど中国等東南アジアで製造されており、値段も数千円で買えるので勿体ないということよりも、使えるものは使うという感覚で使ってきた。

今回の事故で、30年以前製造されたものは、モーターやコード、コンデンサー等が劣化し発煙、発火に至る可能性があるとのことで、改めてコード等を点検してみると被覆部に亀裂が入りかけており処分することにした。

今回の事故について製造物責任法(PL法)との関係はどうか、回収はしなくてもよいのかを調べてみた。PL法は「製造業者等は、引き渡した製造物の欠陥により他人の生命、身体又は財産を侵害したときは、これによって生じた損害を賠償する責に任ずる」と定められているが、第5条には「PL法に基づく責任追及の期間の制限」というものがあり「その製造業者等が当該製造物を引き渡したときから10年を経過したとき時効によって消滅する」と定められている。

従って10年以上使用する場合事故が起こっても自己責任になるようで、今回のような事故は回収する必要は無く、使用中の呼びかけのみで済むようである。

**中小企業経営雑感「コア事業とリスク管理」**

織方BC

ニューヨーク9・11をきっかけに、H17年、3省庁が事業継承計画(BCP 注)策定ガイドラインなるものを各々発表した。具体的には中小企業庁はじめ内閣府(主に地震を想定)及び経産省(対テロ)がそれである。

もちろん企業リスクにも想定外のものを含めて色々ある。例えば、人為的にはIT事故、火災、不正、テロなど、天災としては地震、水害など、際限が無い位である。しかし、被災した場合は、中小企業にとってコア事業を如何に早く復旧させるかが、文字通り事業が継続できるかどうかにつながる。最近では新潟中越沖地震における自動車部品メーカーのリケンがその一例である。(もっとも本ケースはオンリーワン部品メーカーで、大手自動車メーカーの支援力が大であったが)

いずれにしても、本ガイドラインを参考にして、中小企業としても具体化(マニュアル化、一部IT企業がパッケージ化済み)しておく必要がある。大手企業は取引先条件の一つとする傾向にあり、うわさではISO化の動きもあるという。

**注** Business Continuity Plan 1昔前に経緯英管理手法の一つとして流行した「コンテンジェンシプラン(緊急事態対応のための経営計画)」に類似。

神奈川県異業種グループ連絡会議<< 事務局 当番 >> 交流アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】島津 龍男 村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】芝 忠 杉本 明子

【木】八幡 敬和 松井 利夫 【金】芝 忠 島津 龍男 【土、日、祭日】休業

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小センタービル5階 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当)mail [t-onogawa@pro.odn.ne.jp](mailto:t-onogawa@pro.odn.ne.jp) 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ